

救急隊員としては、傷病者の状況は毎回違い、それぞれの状況に適した観察や処置をしなくてはなりません。配属当初は目の前の対応で精一杯でしたが、次第に次に何をすべきなのかを考えて行動できるようになりました。

■どんな時にやりがいを感じますか

指揮隊伝令としては、災害現場の重要な情報を扱い、組織としての活動の一端を担っていることにやりがいを感じています。指揮隊伝令・救急隊員どちらの業務でも、災害に遭われた方、傷病者のご家族から感謝されると、この仕事をやっていて良かったと感じます。

■仕事で男女差を感じる「JUB」、逆に働きたす「JUB」はありますか

現在勤務している福生消防署にはNBC災害※に対応する化学機動中隊という特殊な部隊があります。女性は母体保護法で化学災害の出場時に制限があるため、その訓練の場でも、男性職員に比べてあっさり終わってしまったときは、仕方ないと思う反面悔しくもありました。訓練中生理痛がひどくなり貧血を起こしかけた時は、男性上司に理解があり、配慮してくれました。無理のない範囲で訓練を見てもらえることをとてもありがたく感じました。



▲救急救命士の資格取得を目指す訓練中の高橋さん

消防活動訓練や災害現場ではやはり男性と比べると筋力、体力面で差が出てしまいます。なるべく差が出ないように日々訓練に励み、自宅でも筋力トレーニングなどを行っています。

※NBC災害：核、生物兵器、化学剤によって起こる特殊な災害

■今後の目標は

今は救急救命士の資格取得を目指しています。将来子どもを授かったら、ドイツやアメリカなどとして育児と両立しながら救急業務に携わっていきたくと思っています。出産や育児で一時的に現場を離れても、夢を諦めず、働き方を工夫しながら救急の仕事が続けていきたいです。

無意識の思い込みによって、他人に押し付けている「役割」や「価値観」はありませんか。これらを見直して、誰もが性別にかかわらず自分らしく活躍できる社会をつくっていくことが大切です。

引っ越しのときは

住所異動の届け出を忘れずに

- ▼住所が変わったときには届け出が必要で、**ほかの市町村などへ引っ越し**するとき
引っ越し前および引っ越し後14日以内に転出の届け出をしてください。
- ▼**羽村市に引っ越してきたとき**（新住所地での届出）
住み始めてから14日以内に転入の届け出をしてください。
- ▼**羽村市内で転居したとき**
新住所に住み始めてから14日以内に転居の届け出をしてください。
- ▼**届出に必要なもの**
マイナンバーカードや運転免許証などの本人確認書類、本人以外が届け出る場合は委任状
※マイナンバーカード・在留カード・特別永住者証明書を持っている方は、それらの住所変更も行います。お持ちください。

転出届はオンラインで

- マイナンバーカードをお持ちの方は、マイナンバーからオンラインでも転出の届け出が可能です。
- 手続きのために市役所に来なくてOK！
- 引っ越し予定の30日前から引っ越し後10日以内であれば、24時間手続きできます。
- 転出先の市区町村窓口で、転入届の際の待

ち時間を短縮できます。
※詳しくはデジタル庁ウェブサイトを確認してください。

※マイナンバーカードを通じて転出届の提出をした後は、別途、転入先市区町村の窓口で転入届等の手続きが必要です。
問合せ 市民課受付係内121



▲市公式サイト



▲デジタル庁ウェブサイト

水道の使用中止・開始の連絡を忘れずに

連絡がないまま転居・転出すると、引き続き前住所の水道料金も発生します。使用していただく基本料金がかかりますので、注意してください。

【使用中】開始の手続方法
①電話または直接、羽村市水道事務所お客様窓口へ

②電子申請（インターネットでの申請）
③新居にある「水道使用開始届」による使用開始の申込み（郵送またはファクス）
※詳しくは、市公式サイトを確認するか、問い合わせください。

問合せ 水道事務所
☎554-2269
FAX 554-2573



▲市公式サイト

男女共同参画に関するミニコラム Vol. 22

3月8日は国際女性デー

問合せ 総務課総務係内 347

「国際女性デー」はアメリカの「女性選挙権要求運動」に端を発し、1975年に国際連合が決めました。国や民族、文化などに関係なく、女性が達成してきた成果を認識するとともに、教育・雇用・政治参加などに残る格差や不平等、暴力の問題を考える日です。この日を祝日に定めている国もあります。イタリアでは国際女性デーである3月8日は「ミモザの日」と呼ばれており、男性から女性にミモザの花を贈る習慣があります。このこと由来して、ミモザの花は国際女性デーのシンボルとされています。



日本のジェンダー平等の現状

「ジェンダーギャップ」とは、男女の違いにより生じる格差のことです。世界経済フォーラムが発表している「ジェンダーギャップ指数 2025」によると、世界148か国中、日本は118位で先進国の中では最下位です。分野別にみると「保健分野（1位）」や、「教育分野（74位）」のうち中等教育在学率・識字率は1位で男女格差はないといえます。しかし「経済分野（114位）」「政治分野（123位）」では特に男女格差が大きく、解消が求められています。まずは現状を知り、男女共同参画についての意識を高めていくことが大切です。

イエロー・ライトアップ

国際女性デーに合わせ、羽村駅舎の東口側でイエロー・ライトアップを行います。
期間 3月2日(月)～8日(日)
時間 日没～午後11時30分

資源収集カレンダーを配布します

新しい資源収集カレンダー（4月～令和9年3月）は、広報はむら3月15日号と一緒に全戸配布します。広報はむらが届いたら確認してください。配布後にカレンダーをなくしたり、追加が必要な方は、市役所1階案内・2階生活環境課までお越しください。
※市公式サイトでも確認することができます。
問合せ 生活環境課 ④204



▲市公式サイト

ごみ

リサちゃんといくちゃんからのご願い「引っ越しのごみ捨ては計画的にー」の巻

引っ越しをするときは、通常の収集日に合わせてごみを捨ててください。



引っ越しの前に燃やせないごみの収集日がない場合は、粗大ごみ受付センターで「自宅回収」の予約をするか、リサイクルセンターに「直接持込」してください。



※燃やせないごみの日は月1回です。

問合せ 生活環境課 ④204